

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月8日

文部科学大臣殿

信 州 大 学 長
濱 田 州 博 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	信州大学 大学院	②所在地:	長野県松本市旭3-1-1				
③課程名:	大学院総合理工学研究科農学専攻 地域共生マネージメントプログラム	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成28年4月1日		
⑥責任者:	農学専攻長 中村宗一郎	⑦定員:	65	⑧期間:	1年間		
⑨申請する課程 の目的・概要:	社会人学び直しのための新たな教育プログラムとして、農学部版MOT(Management of Technology)「地域共生マネージメントプログラム」を開設した。企業、地方自治体、公益法人、NPOに所属する職員等、地域のマネージメント及びイノベーションを担う社会人のために、1年間で修士号取得が可能なプログラム(社会人対象短期在学コース)を設け、地域開発・保全など農学分野の専門技術者を育成する。						
⑩4テーマへの 該当の有無	有り 「地方創生」 (地域活性化)	⑪履修資格:	大学(修業年限4年以上)を卒業した者、もしくはそれと同等以上の学力があると認められる者のうち、次のいずれかに該当する者。 (1)大学(修業年限4年以上)卒業後、2年以上(入学時に見込まれる者を含む)の農学に関わる技術や管理の実務経験を有し、官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された者 (2)高等学校を卒業後6年以上、もしくは短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業後4年以上(入学時に見込まれる者を含む)の農学に関わる技術や管理の実務経験を有し、官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された者				
⑫対象とする職 業の種類:	企業、地方自治体、公益法人、NPOに所属する農学分野の専門技術者						
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 地域開発、環境保全、6次産業化、防災など農学分 野の専門知識、実務技術及びコミュニケーション技 能	(得られる能力) 地域活性化のための課題発見能力と、解決 のための実践的マネージメント能力及びイノ ベーション能力					
⑭教育課程:	地域連携・経営学特論Ⅰ・Ⅱや中山間地域管理学等により地域が抱える課題や地域の有用資源に関する知識を修得するとともに、地域課題探究演習Ⅰ・Ⅱ等の演習科目において実地調査やグループ討議を行い、地域活性化のための実践力を修得させる。さらに、特別研究(特定課題研究)において、実地調査、グループ討議、研究発表等を行うことにより、地域活性化のためのマネージメント能力及びイノベーション能力を修得させる。						
⑮修了要件(修 了授業時数等):	所定科目から30単位以上を修得し、かつ、特定課題研究成果報告書の審査及び最終試験に合格すること。						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(農学)						
⑰総授業時数:	30 単位	⑱要件該当授 業時数:	26単位	該当 要件	2,3,4	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	87%
⑳成績評価の方法:	講義及び課題に対する取り組み姿勢とレポート、筆記試験または口述試験で評価する。また、特定課題研究は研究目的・方法・結果及び考察を含む報告書ならびにその研究に関するプレゼンテーションの内容と達成度で評価する。 評価基準: 秀:90~100点, 優:80~89点, 良:70~79点, 可:60~69点, 不可:59点以下						
㉑自己点検・評 価の方法:	専攻長、分野長、指導教員及び学生の派遣元企業等の上司等からなる「地域共生マネージメントプログラム実施委員会」を設置し、修了者の状況に関わる効果の検証結果にもとづいて自己点検・評価を行い「プログラム実施報告書」を作成する。カリキュラムについては農学部教務委員会において点検・評価を行う。						

②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了学生の自己評価アンケート及び職場復帰後の上司等の評価により効果を検証する。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 「地域共生マネジメントプログラム実施委員会」が作成する「プログラム実施報告書」を大学、企業および自治体等で構成する「伊那谷アグリイノベーション推進機構企画運営委員会」に提出、報告して、企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 「地域共生マネジメントプログラム実施委員会」は自己点検・評価を行い「プログラム実施報告書」を作成してプログラムの効果を検証する。効果の検証は修了学生の自己評価及び職場復帰後の上司等による評価の聞き取り調査により行う。その過程で意見を聴取して取り入れる。
④社会人の受講しやすい工夫:	集中講義、週末及び夜間の開講、e-ラーニングによる遠隔授業
⑤ホームページ:	(URL) http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/graduate/management/

事務担当者名:	竹松豊成	所属部署:	信州大学農学部学務グループ
連絡先:	(電話番号) 0265-77-1308 (E-mail) ngakumu@shinshu-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。